

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名 | 北 海 道

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	苫小牧市立緑陵中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教 員 数
学級数	4	4	4	0	12	
児童数	143	138	149	0	430	

研究の概要

1. 研究主題

「21世紀に生きる力を育てる教育活動を目指して」
 ~「確かな学力」を身につけさせるために~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・1、2年生・英語(必修・少人数)
 理解の状況に差が付きやすく、コミュニケーション能力を高めるために有効であるため。
- ・全学年・数学(選択・習熟度別)
 これまでの研究成果と実態調査の結果から、個に応じた学習指導の展開が可能であるため。

(2) 年次計画

平成14年度	<p>テーマ 確かな学力を向上させるために ~必修教科と選択教科における個に応じた指導を通して~</p> <p>研究の見通し(仮説) 必修教科におけるTTを活用した少人数指導の工夫、ならびに選択教科における習熟度別学習の実践として、個に応じた教材・教具を活用し、指導過程を工夫することにより確かな学力が向上する。</p> <p>研究の内容・方法 (1)本校の学力実態の把握(基礎資料の整備) (2)必修教科(課題選択学習)、選択教科(習熟度別学習)の授業体制の整備 (3)観点別学習状況の評価改善</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力を向上させるために ~必修教科と選択教科における個に応じた指導を通して~</p> <p>研究の見通し 必修教科におけるTTを活用した少人数指導の工夫、ならびに選択教科における習熟度別学習の実践として、個に応じた教材・教具を活用し、指導過程を工夫することにより確かな学力が向上する。</p> <p>研究の内容・方法 (1)選択教科(習熟度別学習)における評価のあり方 (2)必修教科(英語)における少人数指導の展開 (3)観点別学習状況の評価改善 (4)学力向上の実態および変容の把握</p>
--------	--

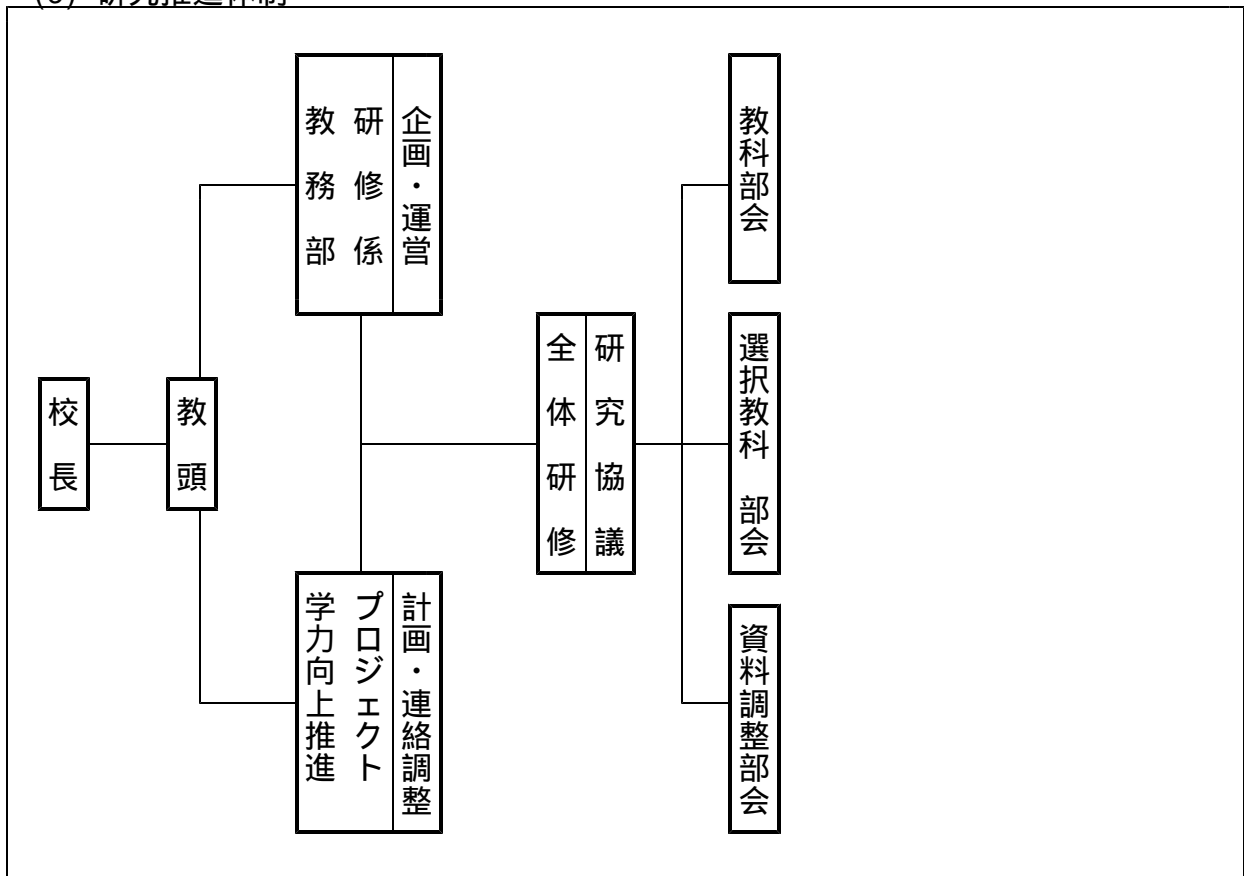
平成
16
年度

テーマ
確かな学力を向上させるために
～ 必修教科と選択教科における個に応じた指導を通して～

研究の見通し
必修教科におけるＴＴを活用した少人数指導の工夫、ならびに選択教科における習熟度別学習の実践として、個に応じた教材・教具を活用し、指導過程を工夫することにより確かな学力が向上する。

- 研究の内容・方法
- (1) 必修教科（英語・数学）における少人数指導の展開
 - (2) 学力向上の実態および変容の把握
 - (3) 観点別学習状況の評価改善
 - (4) 必修各教科（個に応じた指導方法や指導形態の工夫）

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- (1) 習熟度別選択数学を今年度全学年で行っているが、アンケート結果では特に1、2年生の意欲面の向上が見られる。また、基礎コースの生徒の学力向上が顕著である。
- (2) 今年度より1、2年生で行っている必修英語科の少人数指導は意欲面、知識理解面でも顕著な学力向上が見られる。

2. 今後の課題

- (1) 選択教科における数学科の習熟度別指導は、免許外教師が指導にあたる標準コースの指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
- (2) 必修教科(英語・数学)における少人数指導の学力向上の実態と変容を把握する必要がある。
- (3) 必修教科(英語・数学以外)の個に応じた指導方法の工夫の研修を職員全体で取り組む必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

- (1) 観点別学習状況の評価改善を目的に、平成14年度、15年度(2月予定)に教研式標準学力検査CRT(目標基準準拠検査)を行っている。
- (2) 全校生徒を対象に、学習への関心意欲、取組状況等のアンケート形式を実施し、その結果を生徒白書という形でまとめて、次年度の研修に役立てている。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- (1) 2年次公開研究会 平成15年11月14日(金)実施
胆振管内の教職員を対象に研究成果の中間報告を中心に行った。
- (2) 研究成果普及のためのHPを作成した。
- (3) 学校、保護者、地域の三者で学力向上に資するため「学力向上協議会」を立ち上げ、研究成果の普及に向けた活動を行い、成果が上がった。(学期に1回)
- (4) 近隣の小中学校教員を対象に、苫小牧高専の学長を招き、中等教育の学力向上についての講演を行った。2月には民間会社社長を招き、子供たちに望まれる確かな学力についての講演を行う。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科） 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無